

「みえのデジタル社会の形成に向けた戦略推進計画」について

1 計画策定の経緯

「みえのデジタル社会の形成に向けた戦略推進計画」は令和4年10月11日の総務地域連携デジタル社会推進常任委員会において中間案を提示し、パブリックコメント等を実施したところです。

その後、パブリックコメントの結果及びみえDXボード等の有識者からの意見をふまえ、最終案を取りまとめるとともに、令和4年12月13日の同常任委員会において最終案を提示しました。

2 中間案からの主な変更点

全体的なデザインを見直しつつ、有識者（みえDXボード等）からの意見をふまえ以下のとおり変更しました。

- この計画の取組を進めることで、みえのデジタル社会の未来がどのようになるのか、県民の方に伝わるようイラストなどを追加してはどうか。
→みえのデジタル社会の未来について、表紙・裏表紙にイラスト図を追加しました。
- 分野別（暮らし、しごと、行政）のめざす姿について、もう少し具体的に県民に伝わる文言を追加してはどうか。
→各分野のめざす姿について、キーワードで示し、伝わりやすい表現を追加しました。
(本冊：10頁)
- 分野別の取組について、何のためのDXなのかを示すべきではないか。
→それぞれの立場に応じた活用事例を記載（下図）しました。
(本冊：11頁)

6 三重県がめざす社会



それぞれの立場に応じた活用事例



3 パブリックコメント及び有識者からの意見

(1) パブリックコメントの結果

- ・意見募集期間 令和4年9月21日（水）～10月23日（日）まで
- ・意見数 16件（個人6件、団体10件）

対応区分	件数
①反映する	0件
②反映済 ※意見や提案内容が既に反映されているもの。	7件
③参考にする ※意見や提案内容を今後の取組に取り入れていくか検討していくもの。	9件
④反映は難しい	0件
⑤その他 ①～④に該当しないもの	0件

主な意見（抜粋）

【②反映済】

- ・DXの基盤として期待される5Gについて、サービスが都市部に限定的にならず、全国でデジタルサービスが享受できるよう、国等に対して地方での情報通信基盤の整備を推進するよう働きかけてほしい。
- ・商工会議所の経営指導員等へのDX推進に必要な知識・技術を身につけるための研修など、中小企業等に対するプッシュ型の人材育成に取り組むこと。

【③参考にする】

- ・看護、介護、保育の現場で、デジタル化を行うことで人不足の解消に繋がるはずであるため、県がリーダーシップを取り、市町が積極的な事例の共有や発信をしてほしい。

(2) 有識者（みえDXボード等）からのそのほかの意見

【参考とする意見】

- ・高齢者へのスマホ教室はいい取組であるが、スマホが無ければ生きていけない世界を作ることがDXではない。スマホが無い人でも不便なく暮らせるのがいいDXである。
- ・保育・介護の現場でのデジタルも重要な視点である。保育、介護は女性の労働者が多い。労働量の軽減、社会的価値に見合った働き方を。そこにデジタルを使うべき。
- ・デジタル人材の育成では男性が圧倒的に多いので、女性のデジタル人材を育成しないとさらにジェンダー格差が広がる。

4 参考 (PoliPoli Gov[※]を活用した意見募集)

パブリックコメントとともに、今後のデジタル施策の参考とするため、「行政に声を届けるウェブサイト (PoliPoli Gov)」を試験的に導入。

「デジタルの力で解決された地域課題」、「デジタルの力で解決したい地域課題」の2つのテーマで意見を募集。



※伝わりやすいデザイン、Twitter を用いた情報発信などパブリックコメントでの意見募集と比べ、若者の意見を集めやすい特徴がある。

(1) 主な意見 (抜粋)

ア. デジタルの力で解決された地域課題の事例 (69 件)

<https://polipoli-gov.com/issues/Ln0sRpVDamLwXK7srKcv>

- ・ご当地スマホ倶楽部協会を設立してデジタルデバインド対策のスマホ教室を展開して、LINE 講座などを展開しており一定の効果を発揮している。
- ・子どもの保育園では、登園や降園、体調管理などでコードモンというアプリを使っています。親や保育士が書いていた作業がなくなり、ペーパーレスになりました。
- ・高齢者へのデジタルの説明講座、スマホ講座などの開催は良い取り組みだったと思います。これを機にコミュニティにもなり、高齢者の方も全然違うかなと思う。

イ. デジタルの力で解決したい地域課題 (144 件)

<https://polipoli-gov.com/issues/3939pkXxkIjAULvOLCEG>

- ・防災無線が全く聞き取れない。音が反響するし、車が通るとその音でかき消される。無線で話す内容をリアルタイムでSNS等に掲載してほしい。
- ・県内どこでも高齢化が進んでいるので、これから各戸でデジタルデバイスを利用できるよう、民生委員のように地域に密着した「デジタル推進委員」が必要。
- ・自治会やPTA関連の会議をリモート推奨するのを行政がPRしてほしい。教育委員会と連携してやって欲しい。

(2) 頂いた意見への対応

各部局に頂いた意見を情報共有するとともに、今後の各部局の施策に取り入れる際には、デジタル社会推進局としても支援するなど、本県のデジタル施策に反映していきたいと考えている。

また、「PoliPoli Gov」は、政策決定前に幅広く意見を聞くことが可能であり、デジタル庁や経済産業省、群馬県、宮城県、北九州市などが導入している。各部局においても、県民の声を聞く手段の一つとしてご検討いただきたい。

5 今後の予定

令和4年12月20日以降	計画の策定・公表、市町・関係機関等へ周知 県民の方へホームページ・SNS等で周知
令和5年1月～	計画に基づく施策の推進、計画の進捗管理